



***BONTRAGER***

## **NODE 1.1 & NODE 2.1**

**取扱説明書。**

**日本語**

## **このマニュアルについて**

本書はNODEコンピューターの取扱説明書です。NODEコンピューターの取り付けとセットアップ(プログラム)の方法について説明しています。また、安全に走行するための留意点をはじめ、NODEコンピューターの各機能へのアクセス方法、走行データの確認および記録方法についても記載しています。さらに詳細な情報が必要な場合は、Bontrager (ボントレガー) の販売店にお越しいただくか、ウェブサイトの[www.bontrager.com](http://www.bontrager.com)をご利用ください。

# 目次

安全のために.....	1
-------------	---

## 基本情報

ディスプレイ (画面) .....	2
機能一覧 .....	3
ボタン .....	4
メモリー .....	4
モード .....	5

## 取り付け

手順の概要 .....	6
コンピューターの取り付け .....	7
セットアップ (初期プログラム) .....	8
基本的なセットアップ .....	9

## ライディングの開始

主なライディング機能 .....	14
サブディスプレイ .....	15

## Recap (トリップデータの確認)

Recapモードへの切り替え .....	23
Recap (トリップデータ) の表示 .....	24

## 管理 (オプションのプログラム)

管理モードへの切り替え .....	25
バイクの選択 .....	26
ホイールサイズ .....	27
高度 .....	30
ケイデンス .....	31
パワー .....	32
心拍数とカロリー .....	34
温度 .....	40
デュアルビュー .....	42
クロック .....	45
走行距離 .....	47
言語 .....	49

電池について .....	50
--------------	----

リセット .....	51
------------	----

トラブルシューティング .....	52
-------------------	----

## 画面の用語

NODEコンピューターの画面では以下の略語が使用されます。

略語	意味
ALT	高度
AVG	平均
BIKE	バイク (バイク1、バイク2を含みます)
CAD	ケイデンス
CAL	カロリー
CLOCK	クロック
CUR	現在のまたは選択中の
DIST	走行距離
F	女性
GRADE	グレード
HR	心拍数
KG	キログラム
LB	ポンド
M	男性
MAX	最大
MIN	最小
ODO	オドメーター
OFF	オフ
ON	オン
PWR	パワー
TEMP	温度
TIME	時刻



# 安全のために

走行中は、長時間にわたりコンピューターを覗きこまないようにしてください(図1)。  
道路から目を離すと、障害物にぶつかってコントロールを失い、転倒する危険性があります。

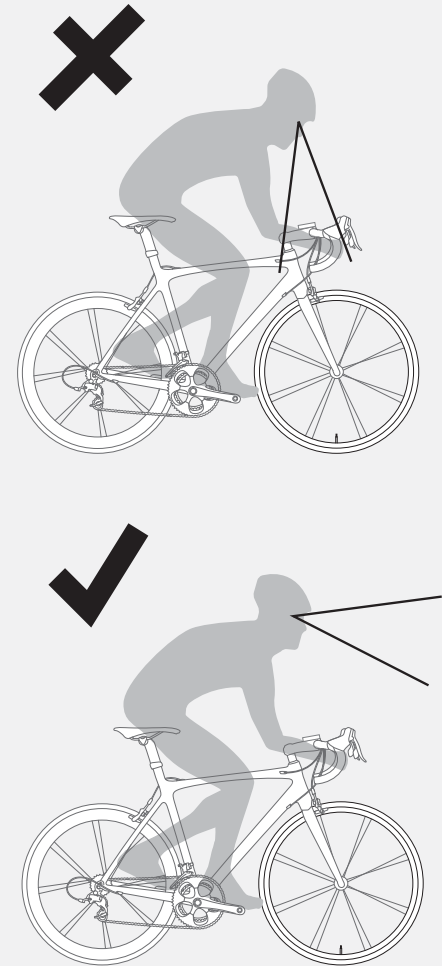


図1:長時間にわたりコンピューターを覗きこまないこと

# 基本情報

このセクションではNODEの画面表示、本マニュアルで使用する用語、作動モードについて説明します。これらは本マニュアルの他のセクションを理解するために必要な基本情報ですが、画面要素はコンピューターを取り付けるまで確認できません。

## ディスプレイ(画面)

NODE画面は4つの領域(以下、セクションと呼びます)に分かれています。

### コンピューターの状態

NODE画面の最上部のセクションには接続されたセンサーの状態、モード、バイクの選択、電池残量が表示されます。

### 時計およびライディングクロック

NODE画面の上から2番目のセクションには、時計(12時間または24時間表示)と、実行中のトリップでコンピューターが起動している時間を示すライディングクロックが表示されます。

### 速度

NODEの画面中央部には、常に速度が一番大きな数字で表示されます。

### アクティブセンサーインジケーター

- 速度
- ケイデンス
- パワー
- 心拍数

### Recapモード

### バイクの選択

- バイク1
- バイク2

### 電池

### ライディングクロック

### 速度 (メインディスプレイ)

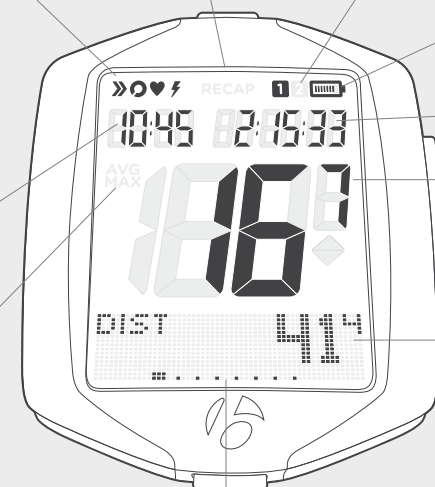
### モード (サブディスプレイ)

### クロック

### 速度機能の選択

- 現在
- 平均
- 最大

### モードインジケーター



## サブディスプレイ

画面の下側にはサブ機能が表示されます。

デュアルビューを設定している場合は、コンピューターは2つのサブ機能を同時に表示します。「管理」セクションの「デュアルビューの設定」セクションを参照してください。

## 機能一覧

機能メニューはNODE 1.1とNODE 2.1で異なります。

	NODE 1.1	NODE 2.1
走行距離	X	X
デュアルビュー	X	X
ケイデンス	X	X
心拍数	X	X
パワー	X	X
グレード		X
高度		X
温度		X

ほとんどのセンサーはオン/オフを切り替えることができます。センサーがオフになると、その機能は表示されなくなります。

### アクティブセンサーインジケーター

- 速度
- ケイデンス
- パワー
- 心拍数

### バイクの選択

- バイク1
- バイク2

### Recapモード

### 電池

### ライディングクロック

### 速度

(メインディスプレイ)

### モード

(サブディスプレイ)

### クロック

### 速度機能の選択

- 現在
- 平均
- 最大

### モードインジケーター



## ボタン

NODEには4つのボタンがあります(図7)。各ボタンの機能については、下の表にまとめて説明しています。簡略化のため、ボタン名を次の記号で示しています。

T : トップ  
B : ボトム  
s1 : サイド 1  
s2 : サイド 2

ブラウズする	ボタンを繰り返し押して設定値のリストまたは画面要素を切り替える操作です。
押し続ける	ボタンを約3秒間押し続ける操作です。
押す	ボタンを軽く1回押す操作です。

## メモリー

NODEにはトリップメモリーとトータル(累積)メモリーがあります。

### トリップデータ

- ・ ケイデンスのAVG (平均) とMAX (最大)
- ・ 走行距離
- ・ 心拍数のAVG (平均)、MIN (最小)、MAX (最大)。さらにゾーン1～5
- ・ パワーのAVG (平均)、MIN (最小)、MAX (最大)
- ・ 速度のAVG (平均)、MAX (最大)
- ・ 高度(ALT)、+、-。さらにグレード(%)のAVG (平均)、MAX (最大)

#### トリップデータの消去:トリップのリスタート

トリップデータは、それぞれのライディングの前に消去する(0に戻す)ことができます(図8)。s1を3秒間押し続けてください。トリップメモリーをリセットしても、トータルメモリーは変化しません。

### 累積データ(トータルメモリー)

- ・ 合計走行距離
- ・ 高度の上昇値合計

#### トータルメモリーの消去:リセット

メモリーのすべての測定値を0(ゼロ)に戻し、すべての設定を消去することができます。50ページを参照してください。

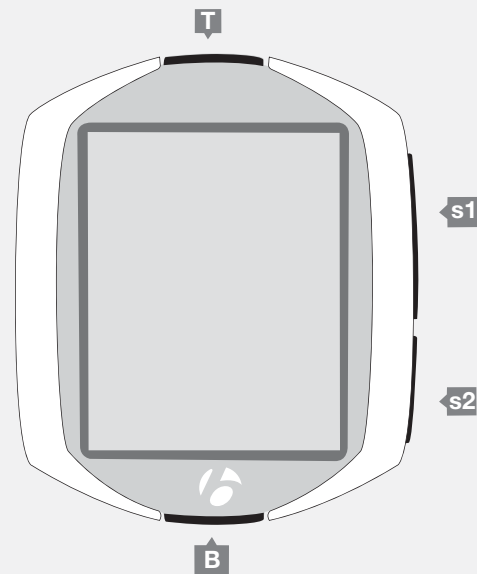


図7: ボタン名

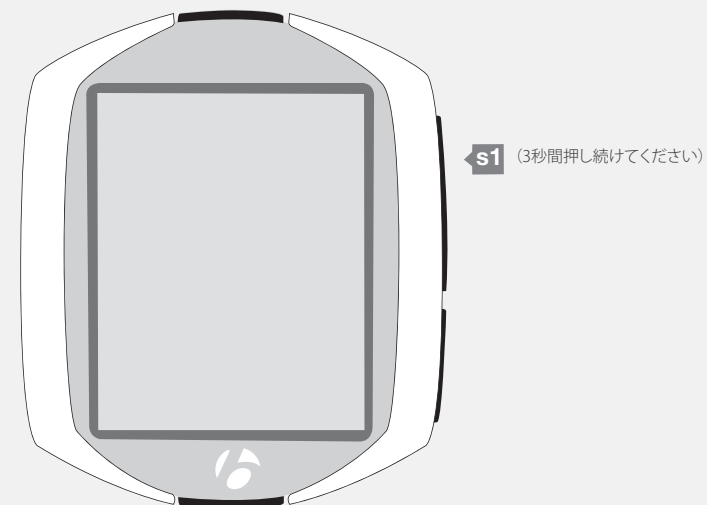


図8: トリップデータの消去



# モード

NODEには5つのモードがあります。

## セットアップ

このモードではコンピューターの「プログラム」を行い、言語、走行距離の単位、時計、オドメーターのプリファレンスを設定できます。

## ライディング

ライディングモード(図9)は走行中に使用するモードです。ライディングモードではコンピューターによって収集された情報が表示されます。この情報は現在のデータ(現在の速度、現在の温度、他の機能のデータ)です。機能によってはNODEにデータの平均、合計、最小/最大が表示されます。各機能の詳細については、それぞれの機能を説明しているセクションを参照してください。

## Recap

ライディングを終えた時やデータを確認したいときには、Recapモードで測定データを表示できます(図10)。

## 管理

このモードではセットアップの修正または高度な設定を行えます。

## スリープ(スタンバイ)

センサーからNODEへの信号の送信が20分間途絶えると、コンピューターは電池を長持ちさせるためにスタンバイモードに移行します。スタンバイモードの場合、画面に2本のダッシュ(—)が表示されます。さらに10分が経過すると、NODEはオフ状態になります。

注:電池を長持ちさせるため、長時間使用しない場合には、コンピューターをコンピューターベースから取り外してください。コンピューターを取り外すと、コンピューターの自動スタート機能は無効化されます。

コンピューターを起動するには次の2つの方法があります。

- 任意のボタンを押してみる
- 自動スタート:ホイールを回転させるとホイールセンサーから信号が送信されます。



図9:ライディングモード

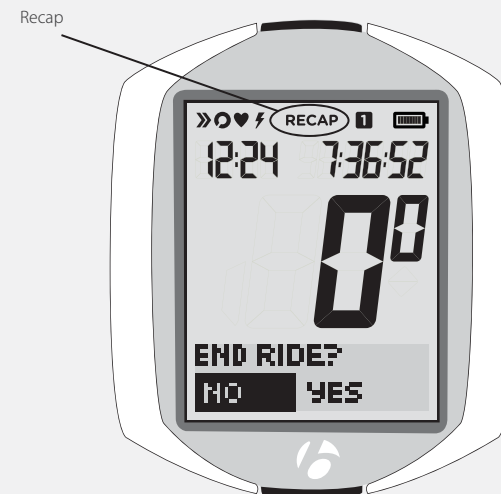


図10:Recapモード



# 取り付け

Nodeは簡単に起動し、所要時間は約10分です。

## 手順の概要

しかし、開始する前に時間を取ってこの取り付けのセクションを確認しておく、あらゆる操作で役立ちます。例えば、センサーがホイールのマグネットを読み取れない場合（ステップ1）には、セットアップ手順（ステップ3）を完了することができません。

手順の各ステップは以下の通りです（詳細は後のページで説明しています）。

1. 速度センサーとホイールマグネットの取り付けます（センサーに同梱されている説明書を参照してください）。オプションのアクセサリセンサーの取り付けます。
2. コンピューターのハンドルバーまたはステムへの取り付けます。
3. 時計、マイルなどのプリファレンスのセットアップ
4. コンピューターの「ペアリング」を行います（コンピューターにセンサーからの無線信号を認識させ、記録させます）。

## センサー

NODEにセンサーは付属していません。NODE用センサーはBontrager（ボントレガー）の販売店で購入できます。センサーの取り付け方法については、センサーに同梱されている説明書を参照してください。

NODEは最大4つの信号またはセンサーを読み取ることができます。

- 速度
- ケイデンス
- 心拍数
- パワー
- コンボ（速度とケイデンス）

センサーはいつでも追加することができますが、センサーを追加するたびに、追加のセットアップ操作が必要になります。

## 必要な工具

- 小さいプラスのスクリュードライバー
- コイン

## パーツリスト

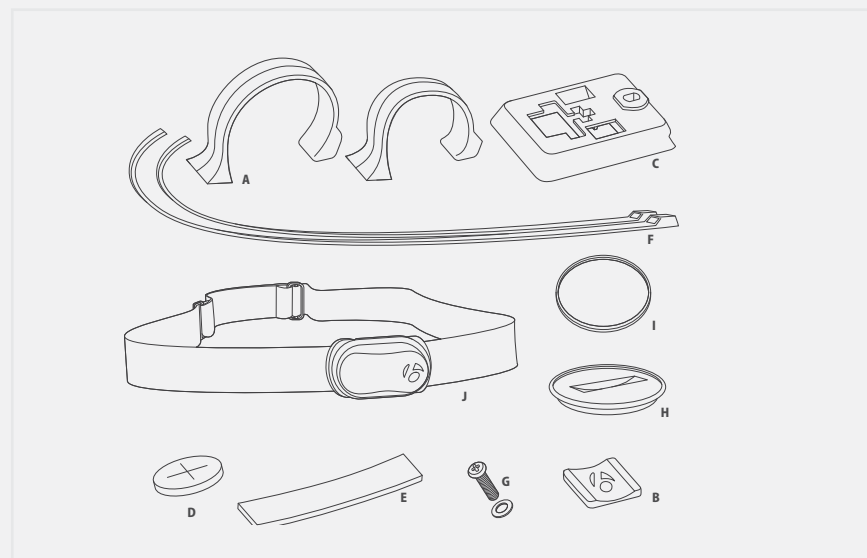


図11: NODEコンピューターのパーツ

- A. ハンドルバークランプ
- B. ラバーパッド
- C. ブラケット
- D. 電池
- E. ラバーシム
- F. ジップタイ
- G. ネジ、ワッシャー
- H. 電池カバー
- I. ラバーリング
- J. 心拍ストラップ (NODE 2.1のみ)



## コンピューターの取り付け

コンピューターはハンドルバーまたはステムに取り付けることができます。

ハンドルバーに取り付ける場合は、左右のどちらが便利かやコンピューターのボタンの押しやすさを考慮してください。ステムに取り付ける場合は、コンピューターの位置は真ん中になります。

一般にハンドルバーは丸型でサイズが1種類または2種類あります。ステムには様々な形とサイズがあります。ステムには非常に多くのバリエーションがあるので、1、2種類のデザインのクランプではすべてに対応できません。そのため、ステムへの取り付けにはジップタイが必要です。

### ハンドルバーへの取り付け

1. ハンドルバーの直径を確認します (25,4 mm、26,0 mm、31,8 mm)。
2. コンピューターベースに、適切なハンドルバークランプを挿入します (図12)。
3. ハンドルバークランプのヘッドをコンピューターベースのスロットの末端までスライドさせます。
4. ロゴのついたラバーパッドをコンピューターベースの背面に挿入します (図13)。
5. ネジ穴をバイクの後ろ側に向けて、ハンドルバークランプでハンドルバーを挟みます。
6. コンピューターベースがハンドルバー上で回転しなくなるまでネジを締めます (図14)。締め付けすぎないでください。
7. コンピューターをコンピューターベースにスライドさせてはめ込みます (図15)。

### ステムへの取り付け

1. ロゴのついたラバーパッドをコンピューターベースの背面に挿入します (図16)。
2. ステム上で、ネジ穴をバイクの後ろ側に向けてコンピューターベースの位置を調整します (図17)。
3. ジップタイでコンピューターベースをステムに固定します。
4. コンピューターをコンピューターベースにスライドさせてはめ込みます (図15)。

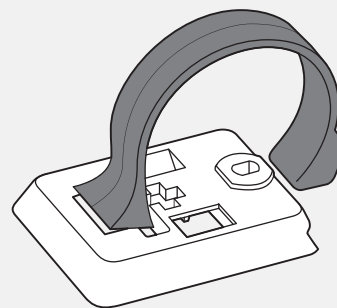


図12: コンピューターベース背面への挿し込み

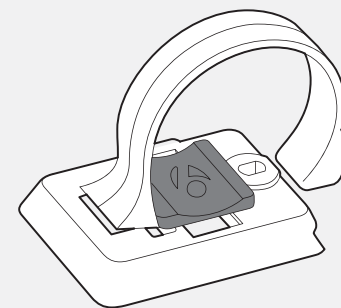


図13: コンピューターベースへのパッドの挿入

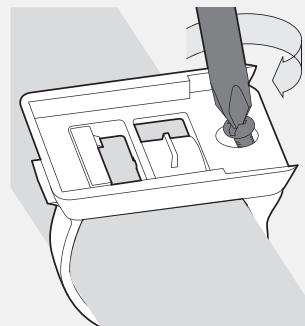


図14: ネジの締め付け

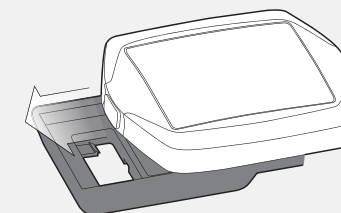


図15: コンピューターベースへのコンピューターのはめ込み

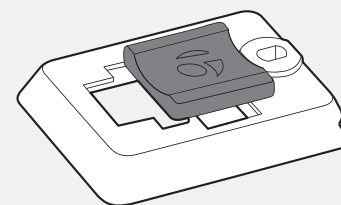


図16: コンピューターベースへのパッドの挿入

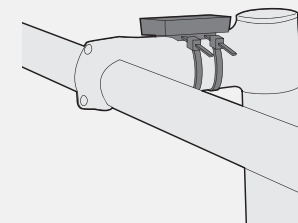


図17: ステムに固定されたベース

## セットアップ(初期プログラム)

電池を新品の状態に保つため、NODEは電池をコンピューターから取り外した状態で出荷されます。電池を取り付けると、NODEは自動的にセットアップ(ペアリングプロセスや接続処理を含む)を開始します。自動セットアップは、電池の交換やリセット処理を実行した場合にも行われます。セットアップを始める前に、このページのすべての情報を確認してください。

### セットアップを始める前に

セットアップを始める前に、コンピューターブラケット、センサー、マグネットの取り付けを行ってください(センサーの取り付け方法については、センサーに同梱されている説明書を参照してください)。電池を取り付けてNODEをセンサーから1.5 m以内の場所に置き、次のセクションで説明するとおりセンサーをアクティブ化する準備ができていることを確認してください。

### センサーのペアリング

「ペアリング」はコンピューターがセンサーからの信号を識別するためのプロセスです(図18)。このプロセスは初期セットアップの最後に実行されます。センサーがペアリングされると、画面にセンサーのアイコンが表示されます(図19)。

コンピューターがセンサーを認識してペアリングするためには、センサーが信号を送信する必要があります。速度センサーは、ホイールが回転した時にのみ信号を送信します。



図18: センサー識別のための無線信号のペアリング

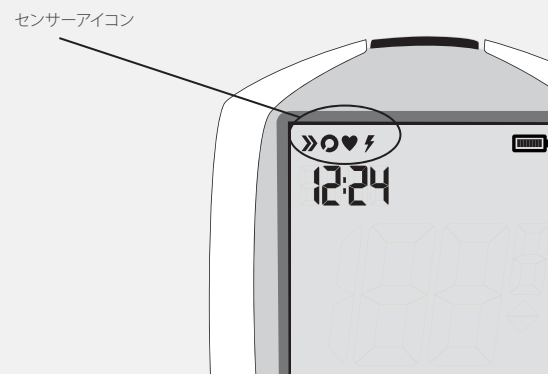
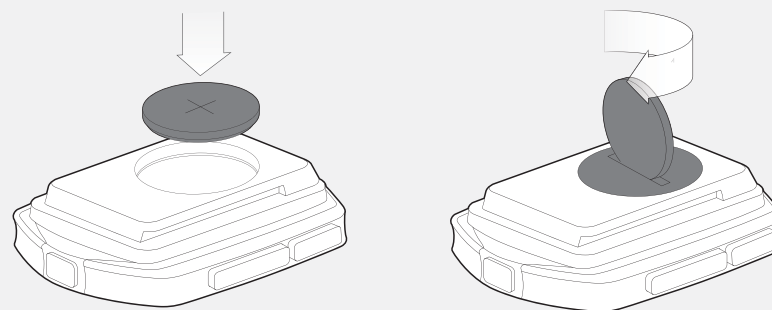


図19: 接続されているセンサーを示すアイコン

### 電池の取り付け

1. 付属の電池を、「+」を上または外側に向けて挿入します。
2. 電池カバーを取り付けます。コインを使ってカバーを時計回りに回してください。



1.

2.



## 基本的なセットアップ

この手順では、機能のプリファレンスを設定して保存します。各機能の設定を保存すると、セットアッププログラムは次の機能に進みます。

1. コンピューターの起動：電池を取り付け、任意のボタンを押すか、速度センサーから信号を送信します。
2. **T**または**B**を押し、言語を変更します（ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語から選択）。

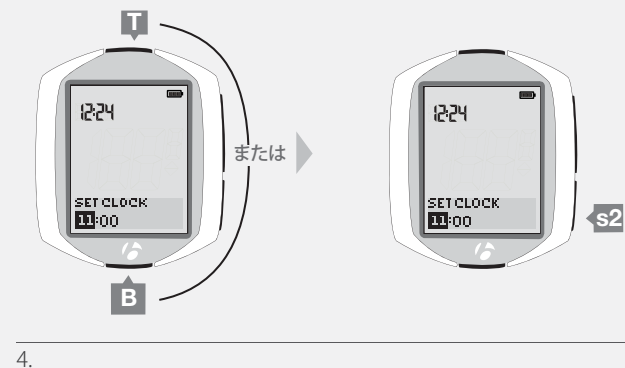
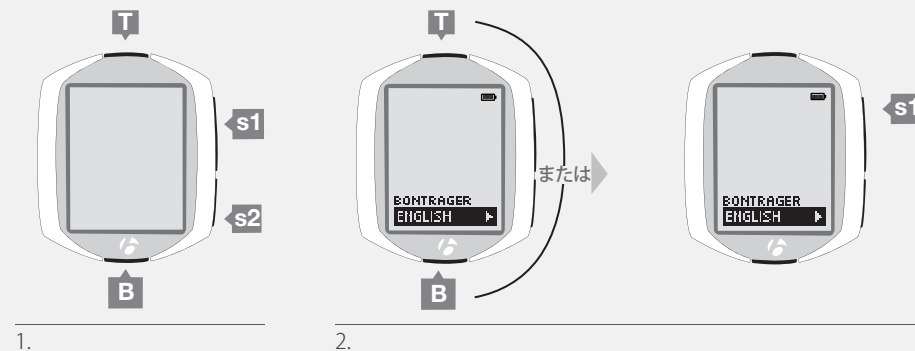
**s1**を押し、言語を保存してクロック（クロックのタイプ）機能に進みます。

3. クロックは時刻を表示します。**s2**を押し、クロックのタイプを変更します（12時間または24時間表示を選択）。

**s1**を押し、クロックを保存してクロックの設定（時刻の設定）機能に進みます。

4. **T**または**B**を押し、時を変更します。

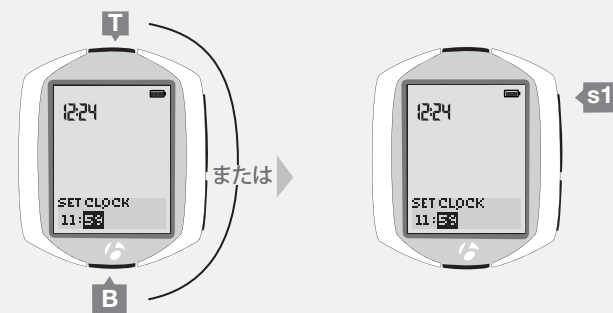
**s2**を押し、時の設定を確定して分の変更に進みます。



5. **T**または**B**を押し、分を変更します。

必要な場合は、**s2**を押して直前のステップの時の変更に戻ることができます。

**s1**を押し、クロックの設定(時刻)を保存してホイール(ホイールサイズ)機能に進みます。



5.

6. **T**または**B**を押し、ホイールサイズを変更します(右側のホイールサイズメニューから選択)。

カスタムホイールサイズの設定については、27ページを参照してください。

**s1**を押し、ホイールを保存して走行距離(単位)機能に進みます。

#### ホイールサイズメニュー

700 x 20  
700 x 23  
700 x 25  
700 x 28  
700 x 32  
700 x 35  
700 x 38  
26 x 1.5  
26 x 1.9  
26 x 2.0  
26 x 2.1  
26 x 2.2  
カスタム



6.

7. **s2**を押し、単位を変更します(KM(キロメートル)またはMILES(マイル)を選択)。

**s1**を押し、単位を保存してオドメーター機能に進みます。



7.

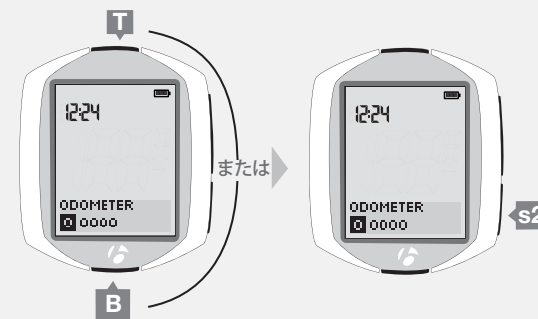


8. オドメーターには累積走行距離が表示されます。

**s1**を押すと、値を00000にしたままこのステップをスキップしてステップ10に進むことができます。

**T**または**B**を押し、強調表示された数字を変更します。

**s2**を押し、数字を確定して次の桁に進みます。



8.

9. ステップ3を繰り返して残りの4桁を決定します。

**T**または**B**を押し、強調表示された数字を変更します。

**s2**を押し、数字を確定して次の桁に進みます。

必要の場合は、**s2**を押して、1桁目(およびその他の桁)に戻ることができます。

**s1**を押し、オドメーターを保存してペアリングプロセスに進みます。



9.

10. オドメーターの設定を保存すると、NODEはペアリングプロセスに進みます。NODEがセンサー信号をペアリングするためには、センサーを起動して信号を送信する必要があります。

- 速度: ホイールの回転
- ケイデンス: クランクアームの回転
- 心拍数: チェストストラップの装着
- パワー: クランクアームの回転(またはホイールを回転させるとハブセンサーが起動します)。

次のページでペアリング中の画面を説明します。

11. 画面に「Setup Complete (セットアップ完了)」と表示されたら、**s1**を押してすべての設定を保存し、ライディングモードに切り替えてください。



10.



## ペアリング中の画面

ペアリングプロセス中、画面には「PAIRING SENSORS (センサーのペアリング中)」と表示され、右下隅で受信アイコンが点滅します (図20)。コンピューターが信号を認識してペアリングすると、センサーのアイコンが3回点滅して画面に追加されます。図21はペアリングされた速度センサーを示しています。ペアリングプロセスは1分間継続しますが、任意のボタンを押すと終了します。その後、画面に「SENSORS FOUND (センサー検出)」という文字と、ペアリングされたセンサーを示す番号が表示されます。

ペアリングプロセスが完了すると、画面に「SETUP COMPLETE (セットアップ完了)」と表示されます (図22)。上部にあるs1ボタンを押すと、コンピューターがDIST画面を表示してライディングモードになり、ライディングを開始できるようになります (図23)。

ライディングモードで速度画面が表示されていれば、NODEの使用準備は整っています。

ペアリングプロセスの完了後に速度アイコンが表示されない場合は、以下の操作を行ってください。

- ・手動ペアリング手順の実行
- ・リセットボタンを押し、すべてのセットアップを削除してやり直す (NODEの取扱説明書を参照してください)
- ・トラブルシューティングのセクションを参照する

## 手動ペアリング

NODEがセンサーのペアリングに失敗した場合、または初期セットアップの後にセンサーを追加した場合、ペアリングプロセスを手動で開始することができます。

1. ライディングモードでs1とs2を3秒間押し続け、各センサーから信号を送信します。



図20: センサーのペアリング中

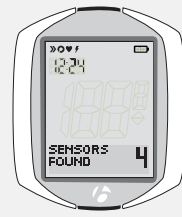


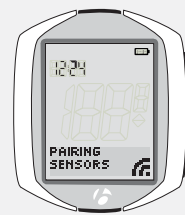
図21: センサー検出



図22: セットアップ完了



図23: ライディングモード



s1 (3秒間押し続けてください)

s2 (3秒間押し続けてください)

1.

# ライディングの開始

このセクションでは新たにライディングを開始する方法を説明しています。ライディングを開始するにはセンサーを接続する必要があります。その後、前回のライディングを継続するか新しいライディングを開始します。

## センサーの接続

NODEは、起動するまたは電源が入る度に自動的にセンサーとの通信を試行します。これを「接続」と言います。NODEと速度センサーを接続するには、クランクアームを回転させます。

### 接続中の画面

接続プロセス中、画面には「CONNECTING SENSORS (センサーを接続中)」と表示され、画面の右下隅で「受信」アイコンが点滅します(図24)。このプロセスが完了するには1分間が必要です。NODEは画面の左上隅に接続されたセンサーを表示します(図25)。

接続後、画面には「NEW RIDE? (新しいライディングですか?)」と表示されます。

## 手動接続

NODEが接続を適切に完了できなかった場合、「Force Connect (手動接続)」で接続手順をやり直すことができます。ライディングモードで[s2]を3秒間押し続け、センサーから信号を送信してください(図26)。

## NEW RIDE? (新しいライディングですか?)

1. [s2]を押し、設定を変更します (YES (はい)またはNO (いいえ)を選択)。
2. [s1]を押し、選択した値を確定します。

	はい	いいえ
トリップデータ	消去	保存
トリップクロック	0:00:00	以前のタイムを継続
バックライト	5秒間オン	
	ライディングモードに切り替え	ライディングモードに切り替え



図24: センサーの接続

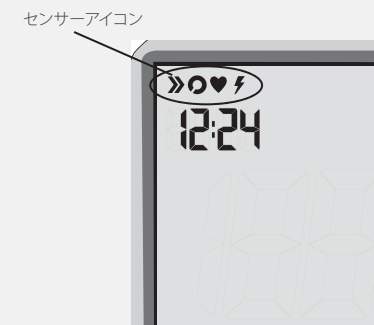
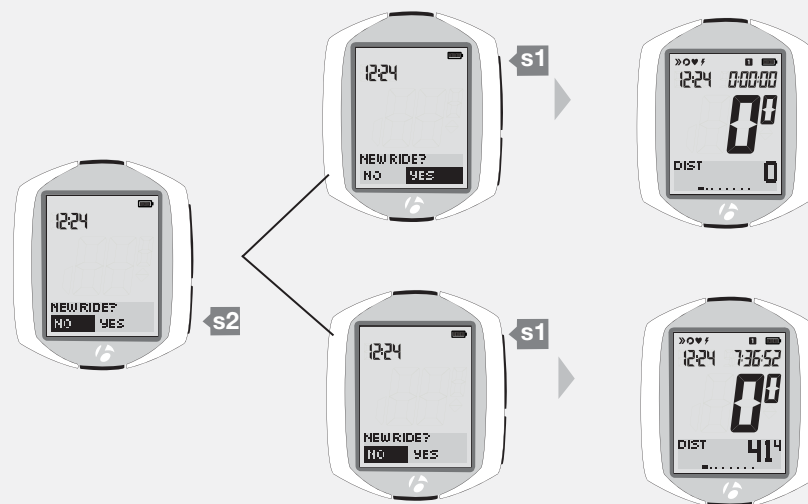


図25: 接続されたセンサー



図26: 手動接続



1.

2.



## 主なライディング機能

このセクションでは、NODEコンピューターの各画面へのアクセス方法とその見方を説明します。それぞれの情報はブラウザで各機能を表示する際の順番で記載されています。

各機能を表示するには、最初に13ページの「ライディングの開始」で説明されている手順でセンサーを接続する必要があります。センサーが接続されていない機能はスキップされます。例えば心拍数センサーが接続されていない場合、ケイデンスの後の心拍数画面は表示されず、センサーが接続されている次の機能画面が表示されます。

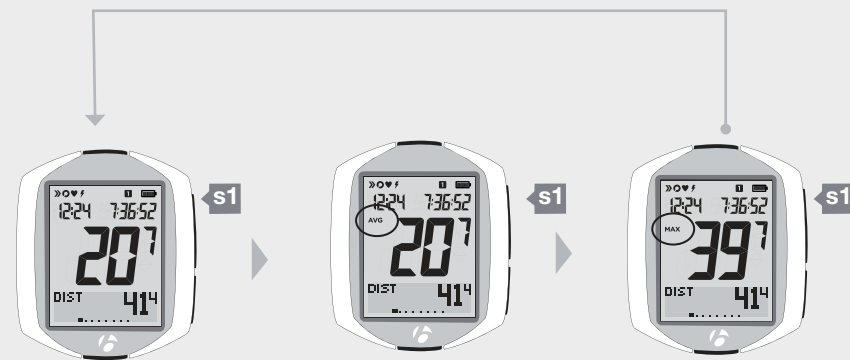
注: NODE 2.1はNODE 1.1にはない追加機能を備えています。NODE 1.1のサブディスプレイを表示している場合、センサーが接続されている最後の機能(速度、ケイデンス、心拍数、パワー)からブラウザすると走行距離に進みます。

### 速度

ライディングモードでは、常に速度が画面の中央部に一番大きな数字で表示されます。速度はバイクが移動する速さを表す測定値です。

1. **s1**をブラウザすると、現在の速度(文字なし)から平均速度(AVG)、さらに最大速度(MAX)へと切り替わります。

下側の**s2**ボタンは、下側のサブディスプレイの機能を切り替えます。サブディスプレイについては次のページで説明します。



1.



# サブディスプレイ

画面の下側(図28)にはサブ機能が表示されます。

センサーの電源が入っていない場合、対応する機能はコンピューターに表示されません。サブ機能の一部はNODE 2.1でのみ使用できます。

機能	NODE 1.1	NODE 2.1
走行距離	X	X
デュアルビュー	X	X
ケイデンス	X	X
心拍数	X	X
パワー	X	X
グレード		X
高度		X
温度		X

1. 各サブ機能を表示するには、**S2**をブラウズします。  
次のセクションに各機能の説明と特徴を記載しています。

## DIST

### 走行距離

走行中、NODEは移動距離を測定して走行距離として表示します。これが実行中の走行で移動した距離を示すトリップ距離です。

1. **B**をブラウズすると、累積走行距離の合計 (DIST ODO) が表示されます。



図28:サブディスプレイ



1.



1.

## デュアルビュー

コンピューターは2つのサブ機能を同時に表示できます(図29)。これを「デュアルビュー」と言います。デュアルビューの使用方法については、42～43ページの「デュアルビューのセットアップ」セクションを参照してください。

1. サブディスプレイを走行距離からデュアルビューに切り替えるには、**s2**を押します。

## CAD

### ケイデンス

ケイデンスはペダリングの速さを示す値で、クランクセットの1分あたりの回転数としてカウントされます。

1. サブディスプレイをデュアルビューからケイデンスに切り替えるには、**s2**を押します。  
ケイデンスセンサーが接続されていない状態でオンになると、画面は次の使用可能な機能に切り替わります。
2. **B**をブラウズすると、現在のケイデンス(CAD)から平均ケイデンス(CAD AVG)、さらに最大ケイデンス(CAD MAX)へと切り替わります。



図29:デュアルビュー

1.



1.



2.

# HR

## 心拍数

心拍数は1分あたりの心臓の鼓動の回数の測定値 (BPM) です。

### センサー

心拍数のセンサーはチェストストラップです。チェストストラップはANT+に適合していて、胸の適切な位置で皮膚に接触している必要があります。チェストストラップは、位置が変わらないようにぴったりと装着する必要があります。バックルをスライドさせてストラップの長さを調整してください。チェストストラップのセンサーは接触面が少し湿っているとうまく機能します。

### 心拍数ゾーン

NODEは、心拍数を5つのゾーンに分類して各ゾーンの時間を測定します。これはトリップデータの一部分になります。現在のゾーンは画面の「HR」の下に表示される数字です。

1～5の各心拍数ゾーンは、最大心拍数設定に基づいています (表1)。例えば、最大心拍数を160 BPMに設定すると、ゾーン5は160 BPMの90～100% (144～160 BPM) になり、ゾーン1は50～60% (80～96 BPM) になります。

最大心拍数の設定については、35ページを参照してください。

1. サブディスプレイをケイデンスから心拍数に切り替えるには、**s2**を押します。

心拍数センサーが接続されていない状態でオンになると、画面は次の使用可能な機能に切り替わります。

2. **B**をブラウズすると、他の心拍数機能が表示されます。

- 平均 HR AVG
- 最大 HR MAX
- 消費カロリー HR CAL
- ゾーン1の時間 HR 1
- ゾーン2の時間 HR 2
- ゾーン3の時間 HR 3
- ゾーン4の時間 HR 4
- ゾーン5の時間 HR 5

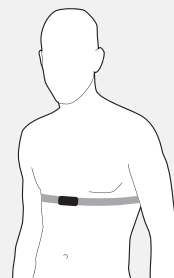


図30: チェストストラップの位置

表1: 心拍数ゾーン

ゾーン	最大心拍数設定のパーセンテージ
1	50-60
2	60-70
3	70-80
4	80-90
5	90-100



1.



2.

## PWR

### パワー

パワーは運動量または馬力を測定した値です。馬力をメートル法で表したものがジュールです。

1. **s2**を押して、サブディスプレイを心拍数からパワーに切り替えます。  
パワーセンサーが接続されていない状態でオンになると、画面は次の使用可能な機能に切り替わります。
2. **B**をブラウズすると、現在のパワー (PWR) から平均パワー (PWR AVG)、さらに最大パワー (PWR MAX) へと切り替わります。

パワーの較正については、31ページの「管理モード」を参照してください。

#### NODE 1.1: ブラウズの継続

1. NODE 1.1では、パワーの後にサブディスプレイの走行距離に戻ることができます。**s2**を押してください。

## NODE 2.1: 追加機能

NODE 2.1には追加機能が備わっています。次のページで追加機能を説明します。

- グレード
- 高度
- 温度



1.



2.



1.

## GRADE

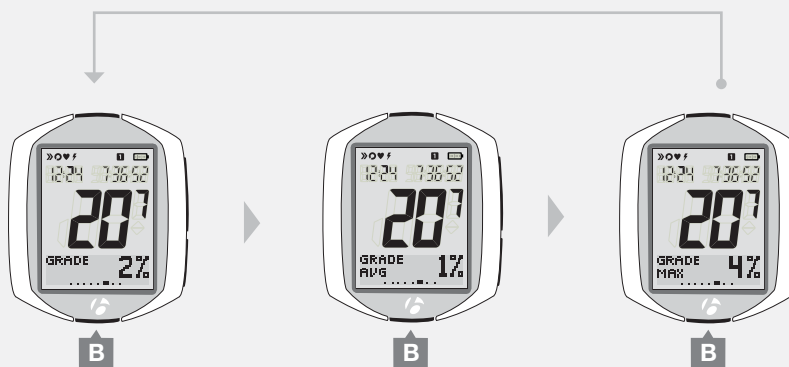
### グレード

グレードは上昇傾斜をパーセンテージで表した測定値です。この値は水平方向100フィートに対して上昇したフィート(またはメートル)数です。

1. サブディスプレイをパワーからグレードに切り替えるには、**s2**を押します。
2. **B**をブラウズすると、現在のグレード (GRADE) から平均グレード (GRADE AVG)、さらに最大ケイデンス (GRADE MAX) へと切り替わります。



1.



2.



# ALT

## 高度

高度は海拔高度をフィート (またはメートル) で表した値です。

NODEは気圧に基づいて高度を計算します。特定の場所の気圧は天候によって変化するため、正確な値を得るために高度をリセットする必要がある場合があります。高度をリセットする方法については、30ページを参照してください。

NODEはバイク1で測定した高度の合計 (累積) 値をバイク2の測定値に加算します。

1. サブディスプレイをグレードから高度に切り替えるには、**s2**を押します。
2. **B**をブラウズすると、現在の高度 (ALT) から上昇高度 (ALT +)、下降高度 (ALT -)、累積上昇値 (+Σ)、累積下降値 (-Σ)、最大高度 (ALT MAX) へと切り替わります。



1.



2.



## TEMP

### 温度

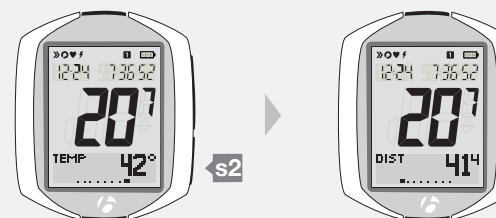
1. サブディスプレイを高度から温度に切り替えるには、**s2**を押します。



1.

### ブラウズの継続

1. 温度の後にサブディスプレイの走行距離に戻ることができます。**s2**を押してください。



1.



## バックライト

NODE 2.1はスクリーンバックライトを備えています。バックライトは、数値を見やすくするために画面の後方を照らします。

### バックライトをオンにする方法

1. ライディングモードで $\square$ を押します。

電池を長持ちさせるため、バックライトは5秒後に自動的に切れます。



1.



# RECAP (トリップデータの確認)

コンピューターのメモリーにある現在のデータ (平均値、最大値を含む) をすべて確認できます。

## Recapモードへの切り替え

1. **T**を3秒間押し続けてください。  
コンピューターに「END RIDE? (ライディングを終了しますか?)」と表示されます。
2. **s2**を押し、設定を変更します (YES (はい) または NO (いいえ) を選択)。

	はい	いいえ
	トリップデータの記録の停止 Recapモードへの切り替え	ライディングモードに切り替え

**s1**を押し、選択を保存して任意のモードに進みます。

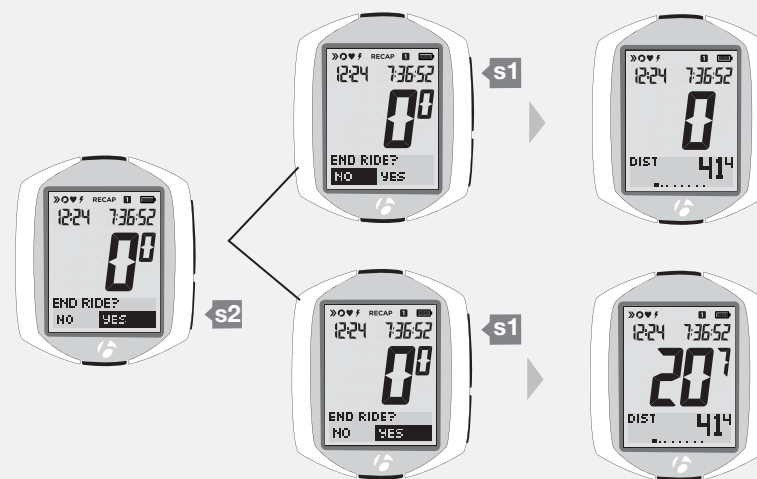
## (Recap機能から) ライディングモードへの切り替え

1. **T**を3秒間押し続けてください。コンピューターに「NEW RIDE? (新しいライディングですか?)」と表示されます。
2. **s2**を押し、設定を変更します (YES (はい) または NO (いいえ) を選択)。  
YES (はい) を選択すると、すべてのトリップデータが消去されます。13ページを参照してください。

**s1**を押し、選択を保存してライディングモードに進みます。



1.



2.



# Recap (トリップデータ) の表示

- 1. サブディスプレイの各機能を表示するには、s2をブラウズします。
- 2. 機能のデータを表示するには、Bをブラウズします。

機能 s2を押します。	データ Bを押します。						
ケイデンス	AVG	MAX					
心拍数	MAX	CAL	ゾーン1	ゾーン2	ゾーン3	ゾーン4	ゾーン5
パワー	AVG	MAX					
グレード	AVG	MAX					
高度	ALT+	ALT-	MAX				
走行距離							



1.



2.



# 管理 (オプションのプログラム)

このモードでは、既存の設定の変更や高度な機能の追加など、コンピューターのセットアップ (プログラム) を変更できます。

## 管理モードへの切り替え

1. **B** を3秒間押し続けてください。  
コンピューターの画面に「BIKE (バイク)」と表示されます。
2. 各機能 (下表の順序を参照) に進むには、**s1** をブラウズします。タスクの実行については、次のページを参照してください。

機能	タスク
バイク	バイク1またはバイク2を選択
ホイールサイズ	リストから選択またはカスタムを選択
高度	現在の高度の設定
ケイデンス	センサーのオン/オフ
パワー	センサーのオン/オフ 較正
心拍数	センサーのオン/オフ 最小/最大心拍数の設定 性別の選択 体重の設定
温度	センサーのオン/オフ
デュアルビュー	センサーのオン/オフ 機能 (ケイデンス、走行距離、温度、心拍数、パワー) の選択
クロックのタイプ	12時間または24時間表示を選択
クロック	時刻の設定
走行距離の単位	マイルまたはキロメートルを選択
オドメーター	累積走行距離の設定
言語	英語、フランス語、ドイツ語から選択

## (管理機能から) ライディングモードへの切り替え

1. **B** を3秒間押し続けてください。



**B** (3秒間押し続けてください)

1.



2.

管理モード

# バイクの選択

## 2台目のバイクのセットアップ

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
管理モードがバイク選択画面で開始します。
2. **s2**を押し、設定を変更します(バイク1またはバイク2を選択)。  
**s1**を押し、バイクの選択を保存してホイールサイズ機能に進みます。
3. 以下の手順の1つを実行してください。
  - ・次のページの指示に従ってホイールサイズをセットアップする。
  - ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
  - ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。

## バイク1からバイク2への切り替え

バイク1とバイク2をセットアップしている状態で、他のバイクを選択する必要がある場合は以下のステップを実行します。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
コンピューターに「BIKE(バイク)」と表示されます。
2. **s2**を押し、設定を変更します(バイク1またはバイク2を選択)。  
**s1**を押し、バイクの選択を保存してホイールサイズ機能に進みます。
3. **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



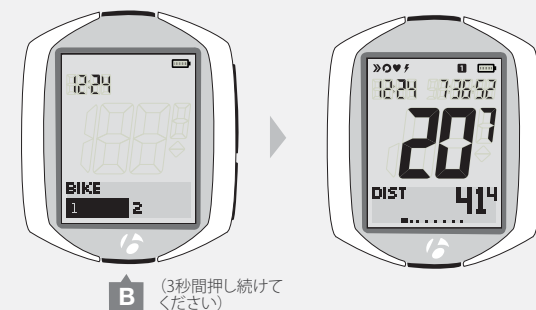
1.

2.



1.

2.



3.

管理モード

# ホイールサイズ

## セットアップ

NODEに「WHEEL (ホイール)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてホイールサイズに進みます。

必ずバイクの選択 (バイク1またはバイク2) が適切であることを確認してからホイールサイズを設定してください。

3. **1**または**B**を押し、ホイールサイズを変更します (右側のホイールサイズメニューから選択)。

カスタムホイールサイズを設定するには、カスタムを選択して、このページの下のセクションに進んでください。

**s1**を押し、ホイールサイズの選択を保存します。

管理モードの画面が高度に切り替わります。

4. 以下の手順の1つを実行してください。

- ・次のセクションの指示に従って高度を設定する。
- ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。

### ホイールサイズメニュー

700 x 20  
700 x 23  
700 x 25  
700 x 28  
700 x 32  
700 x 35  
700 x 38  
26 x 1.5  
26 x 1.9  
26 x 2.0  
26 x 2.1  
26 x 2.2  
カスタム

## カスタムホイールサイズ

カスタムホイールサイズのセットアップを行うには、バイクのロールアウト (図31: ホイールがちょうど1回転したときにバイクが進む距離) を測定してからコンピューターのセットアップを行います。

### ロールアウトを測定するには

アシスタント、ペン、メジャーを用意してください。

1. ホイールのバルブステムが地面のすぐ上にくるように配置し、自転車に乗ります。
2. アシスタントにバルブステムの位置を床にマークしてもらいます。
3. ホイールが1回転するまで自転車を押し、バルブステムが再び地面のすぐ上にくるようにします。
4. 移動先のバルブステムの位置をマークします。
5. 2つのマーク間の距離を測定します。必要に応じて、ミリ単位に変換します。測定された数値が、お客様のカスタムホイールサイズとなります。



1.

2.



3.

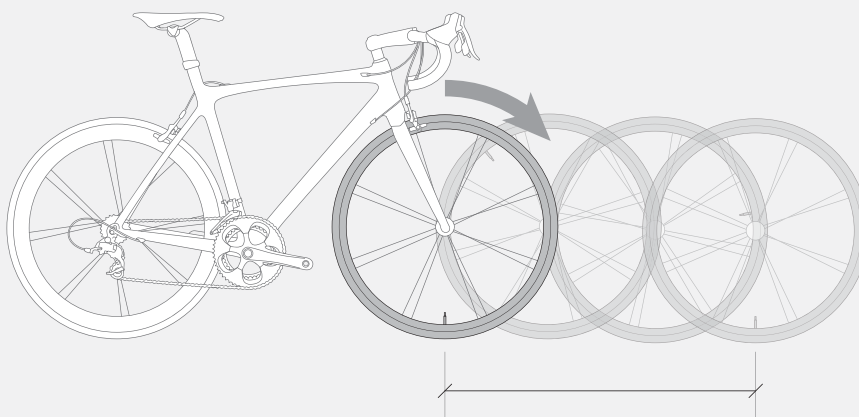


図31: ロールアウト

## カスタムホイールサイズによるコンピューターのセットアップ

NODEに「WHEEL (ホイール)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてホイールサイズに進みます。

3. **T**または**B**をブラウズしてカスタムに進みます。

**s1**を押し、カスタムの選択を保存してカスタム値の設定に進みます。

画面がカスタムに切り替わり、1桁目が強調表示されます。

4. **T**または**B**をブラウズして数値を変更します。

**s2**を押して選択を確定します。

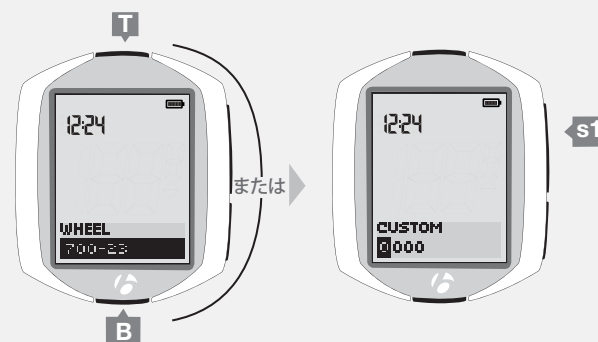
数字を選択すると、次の桁が強調表示されます。

5. ステップ4を繰り返して残りの3桁を変更します。

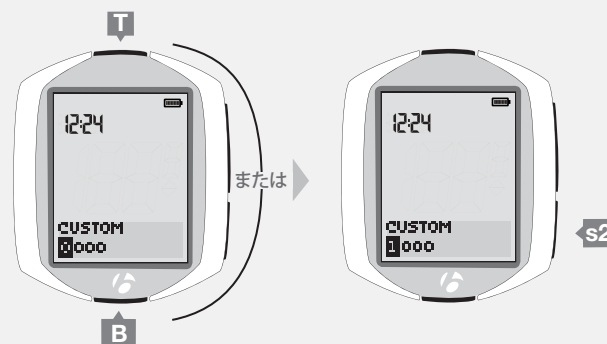


1.

2.



3.

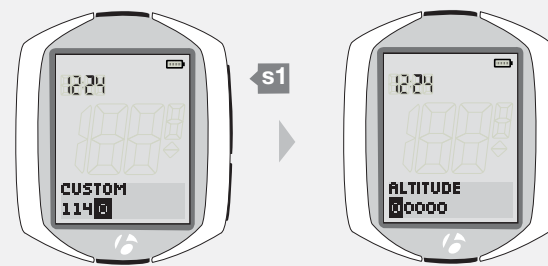


4および5

管理モード

6. **s1**を押してカスタムホイールサイズの設定を保存します。  
管理モードの画面が高度に切り替わります。

7. 以下の手順の1つを実行してください。
- 次のページの指示に従って高度を設定する。
  - **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
  - **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



6.



# 高度

## セットアップ

NODEに「ALTITUDE (高度)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズして高度に進みます。

3. **T**または**B**をブラウズして1桁目を変更します。

**s2**ボタンを押して選択を確定します。

数字を選択すると、次の桁が強調表示されます。

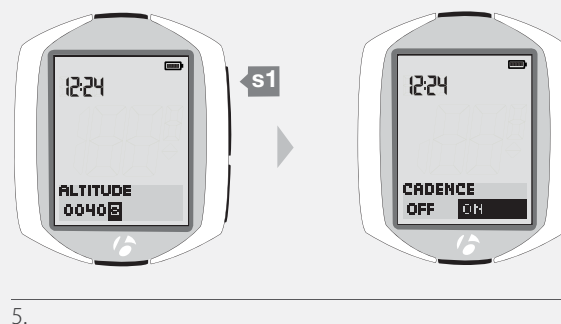
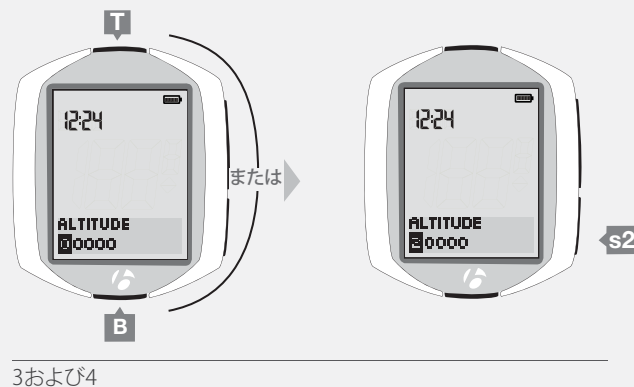
4. ステップ3を繰り返して残りの4桁を変更します。

5. **s1**を押して高度の設定を保存します。

管理モードの画面がケイデンスに切り替わります。

6. 以下の手順の1つを実行してください。

- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。
- 次のページの指示に従ってケイデンスを設定する。
- **s1**を押して管理モードの機能を確認する。





# ケイデンス

## センサーのオン/オフ

NODEに「CADENCE(ケイデンス)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてケイデンスに進みます。

3. **s2**を押してオン/オフを変更します。

**s1**を押し、選択を保存してパワー機能に進みます。

NODEが管理モードのパワーに切り替わります。

4. 以下の手順の1つを実行してください。

- ・次のページの指示に従ってパワーを設定する。
- ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# パワー

## センサーのオン/オフ

NODEに「POWER (パワー)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

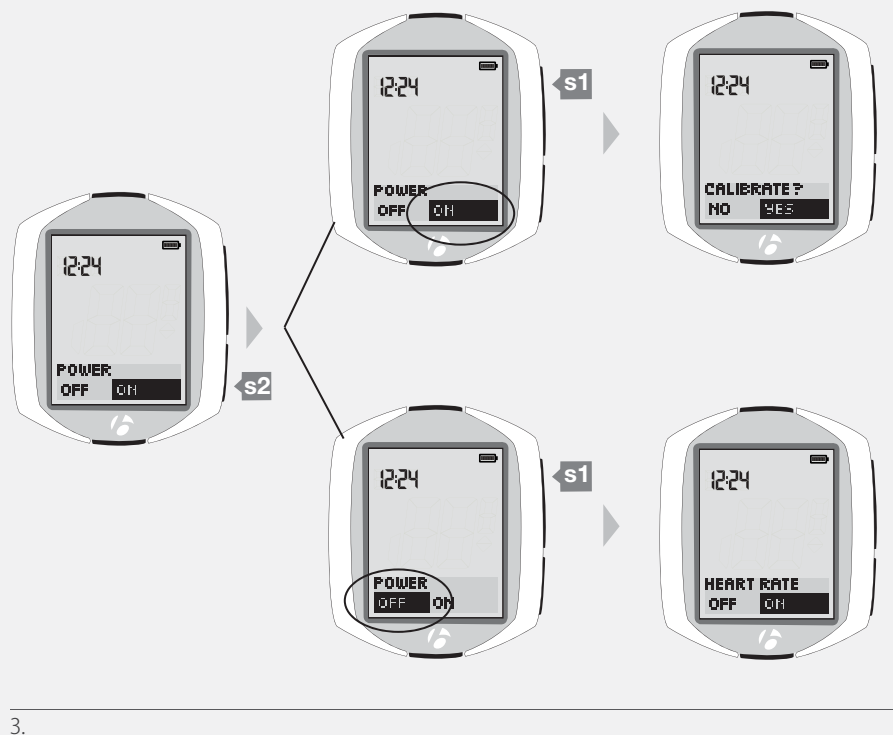
2. **s1**をブラウズしてパワーに進みます。

3. **s2**を押してオン/オフを変更します。

**s1**を押し、選択を保存して希望する管理機能の設定に進みます。

4. 以下の手順の1つを実行してください。

- 33ページの指示に従ってパワー較正を設定する。
- 34ページの指示に従って心拍数を設定する。
- **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



## 較正

較正するには、パワーセンサーの電源がオンで、接続およびペアリングされている必要があります。NODEに「CALIBRATE (較正しますか?)」が表示されている場合は、ステップ4から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてパワーに進みます。

3. 必要に応じてパワーをオンに変更します。**s2**を押して変更してください。

**s1**を押して保存します。

**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻ります。

手動ペアリングを実行します。**s1**と**s2**を3秒間押し続け、各センサーから信号を送信してください。

手動ペアリングが完了した後、ステップ1とステップ2を繰り返します。

4. 必要に応じて、「CALIBRATE (較正しますか?)」を「YES (はい)」に変更します。

**s2**を押して変更してください。

**s1**を押し、選択を保存して較正プロセスに進みます。画面に「Calibrating Power (パワーの較正)」が表示されている場合は、以下の手順の1つを行ってください。

パワータップ/パワーセンサーの場合は、ホイールを回転させる

SRM/パワーセンサーの場合は、ペダルに負荷をかけずにクランクセットを後方に回転させる

クオーク/パワーセンサーの場合は、クランクを回転させない

5. 較正が失敗すると、画面に「CALIBRATE (較正しますか?)」が再表示されます (ステップ4)。52ページのトラブルシューティングを参照してください。

較正プロセスが成功すると、NODEは心拍数画面に進みます。以下の手順の1つを実行してください。

- 34ページの指示に従って心拍数を設定する。
- **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# 心拍数とカロリー

## センサーのオン/オフ

NODEに「HEART RATE (心拍数)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

- 1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
管理モードがバイク選択画面で開始します。
- 2. **s1**をブラウズして心拍数に進みます。

- 3. **s2**を押してオン/オフを変更します。

**s1**を押し、選択を保存して希望する管理機能の設定に進みます。

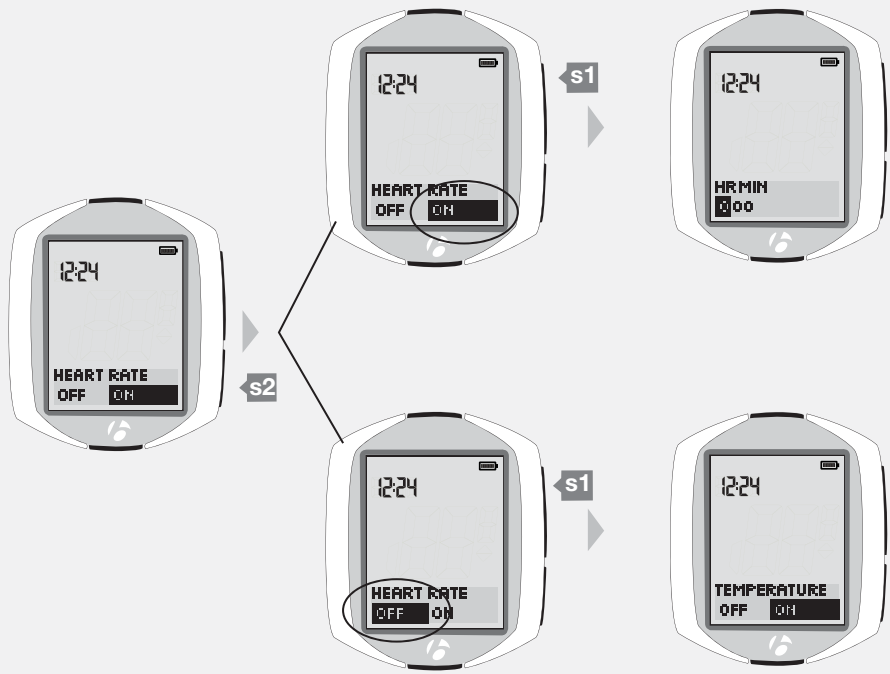
	オン	オフ
操作	最小/最大心拍数への切り替え	温度への切り替え
記載ページ	35ページ	40ページ

- 4. 以下の手順の1つを実行してください。
  - 35ページの指示に従って最小/最大心拍数を設定する。
  - 40ページの指示に従って温度を設定する。
  - **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
  - **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



1.

2.

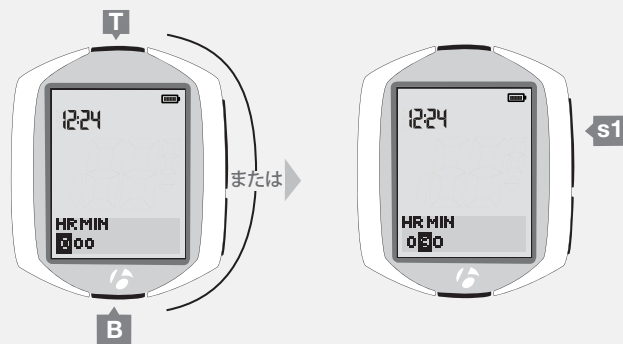


3.

## 最小/最大値のセットアップ

NODEに「HR MIN (最小心拍数)」が表示されている場合は、ステップ4から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
管理モードがバイク選択画面で開始します。
2. **s1**をブラウズして心拍数に進みます。
3. 必要に応じて、心拍数をオンに変更します。**s2**を押して変更します。**s1**を押し、選択を保存して心拍数機能に進むと、1桁目が強調表示されます。
4. **T**または**B**を押して強調表示されたHR MIN (最小心拍数) の数字を変更します。  
**s1**ボタンを押して選択を確定します。  
数字を選択すると、次の桁が強調表示されます。
5. ステップ4を繰り返して残りの2桁を変更します。



4および5

6. **s1**を押して最小心拍数の設定を保存すると、画面が管理モードのHR MAX (最大心拍数)に切り替わります。

7. **T**または**B**を押して強調表示されたHR MAX (最大心拍数)の数字を変更します。

**s2**ボタンを押して選択を確定します。

数字を選択すると、次の桁が強調表示されます。

8. ステップ7を繰り返して残りの2桁を変更します。

9. **s1**ボタンを押して最大心拍数の設定を保存します。

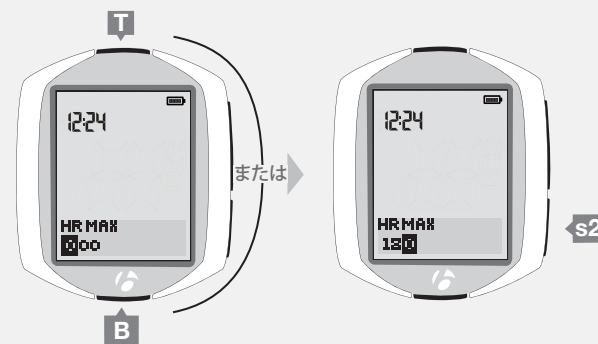
画面が管理モードの性別に切り替わります。

10. 以下の手順の1つを実行してください。

- ・37ページの指示に従って性別を設定する。
- ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



6.



7および8



9.

## 性別のセットアップ

性別はカロリー消費の計算に使用されます。

NODEに「GENDER(性別)」が表示されている場合は、ステップ5から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズして心拍数に進みます。

3. 必要に応じて、心拍数をオンに変更します。**s2**を押して変更してください。

**s1**を押し、選択を保存して性別設定機能に進みます。

4. **s1**をブラウズして性別に進みます。

5. **s2**を押して性別を変更します(MまたはFを選択)。

**s1**を押し、選択を保存して体重機能に進みます。

6. 以下の手順の1つを実行してください。

- 38ページの指示に従って体重を設定する。
- **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



## 体重のセットアップ

NODEに「WEIGHT (体重)」が表示されている場合は、ステップ5から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズして心拍数に進みます。

3. 必要に応じて、心拍数をオンに変更します。**s2**を押して変更してください。

**s1**を押し、選択を保存して体重設定機能に進みます。

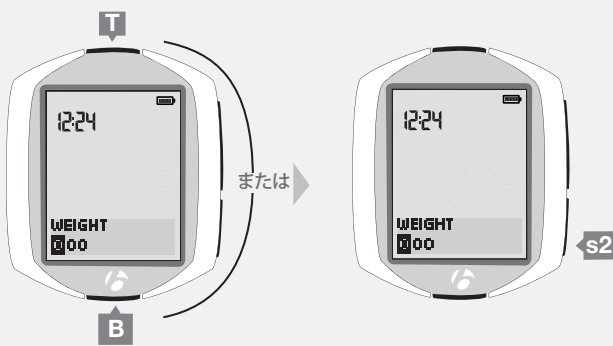
4. **s1**をブラウズして体重に進みます。

5. **T**または**B**をブラウズして1桁目を変更します。

**s2**ボタンを押して選択を確定します。

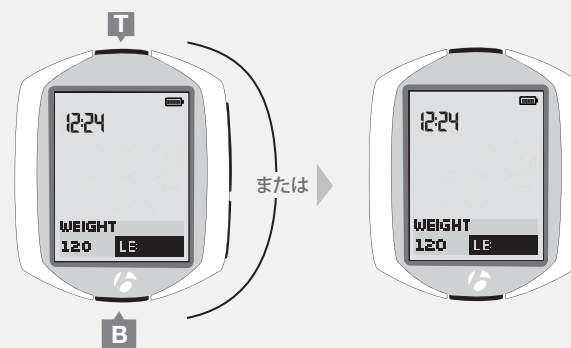
数字を選択すると、次の桁が強調表示されます。

6. ステップ5を繰り返して残りの2桁を変更します。



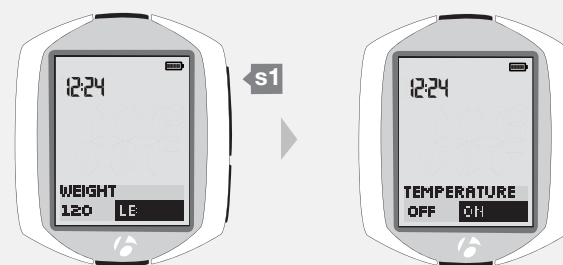


7. **T**または**B**を押して単位の選択を変更します (*LB*または*KG*を選択)。



7.

8. **s1** ボタンを押して体重の設定を保存します。  
管理モードの画面が温度に切り替わります。



8.

9. 以下の手順の1つを実行してください。
- 40ページの指示に従って温度を設定する。
  - **s1** をブラウズして他の機能を確認する。
  - **B** を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# 温度

## センサーのオン/オフ

NODEに「TEMPERATURE (温度)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

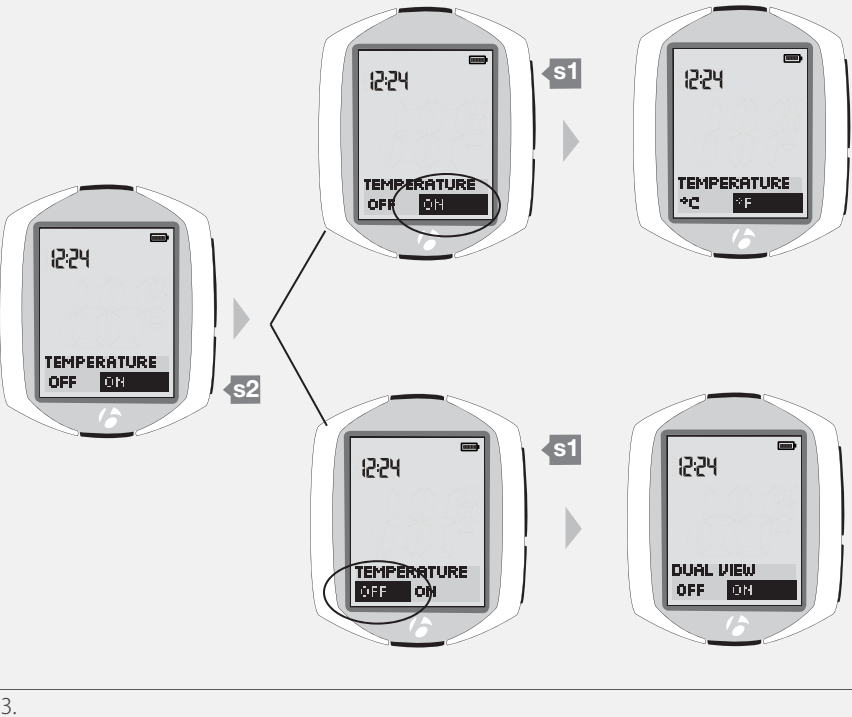
- 1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
管理モードがバイク選択画面で開始します。
- 2. **s1**をブラウズして温度に進みます。

- 3. **s2**を押してオン/オフを変更します。

**s1**を押し、選択を保存して次の機能に進みます。

	オン	オフ
操作	温度単位への切り替え	デュアルビューへの切り替え
記載ページ	41ページ	42ページ

- 4. 以下の手順の1つを実行してください。
  - ・41ページの指示に従って温度単位を設定する。
  - ・42ページの指示に従ってデュアルビューを設定する。
  - ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
  - ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



## 単位のセットアップ

NODEに温度単位が表示されている場合は、ステップ4から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズして温度に進みます。

3. 必要に応じて、温度をオンに変更します。**s2**を押して変更してください。

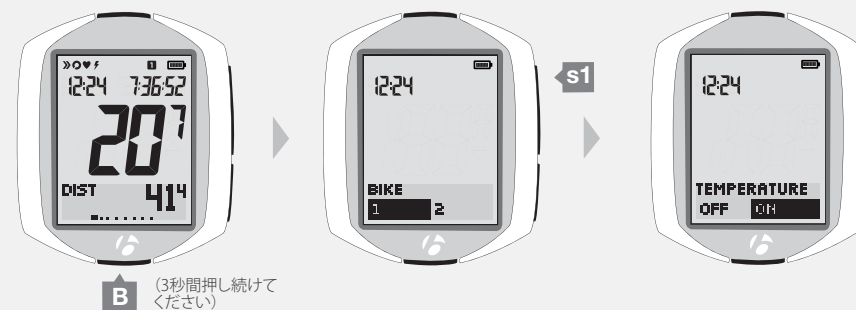
**s1**を押し、選択を保存して温度単位機能に進みます。

4. **s2**を押し、温度単位を変更します( $^{\circ}\text{C}$ または $^{\circ}\text{F}$ を選択)。

**s1**を押し、選択を保存してデュアルビュー機能に進みます。

5. 以下の手順の1つを実行してください。

- 42ページの指示に従ってデュアルビューを設定する。
- **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# デュアルビュー

## センサーのオン/オフ

NODEに「DUAL VIEW (デュアルビュー)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

- 1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
管理モードがバイク選択画面で開始します。
- 2. **s1**をブラウズしてデュアルビューに進みます。

- 3. **s2**を押してデュアルビューのオン/オフを変更します。

**s1**を押し、選択を保存して次の機能に進みます。

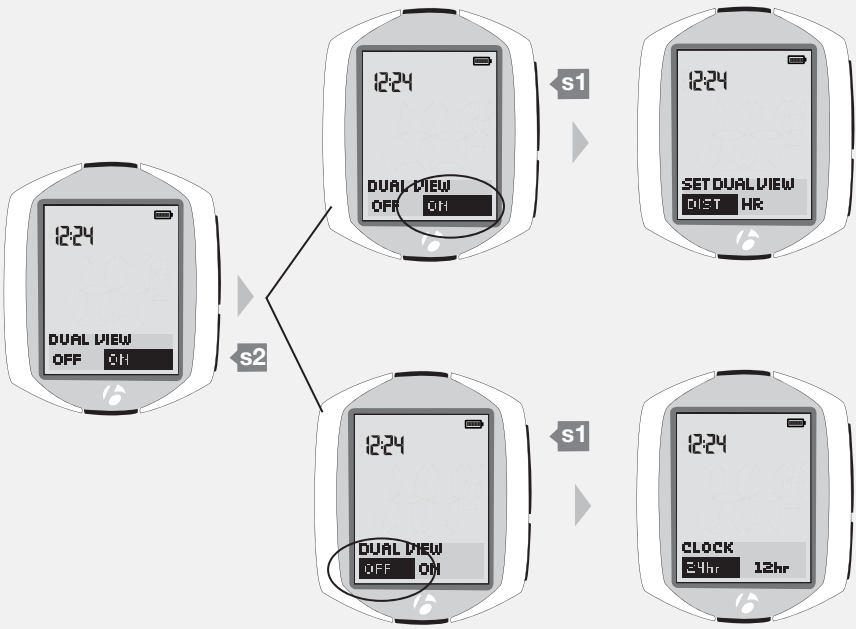
	ON	OFF
操作	デュアルビュー設定への切り替え	クロックのタイプへの切り替え
記載ページ	43ページ	46ページ

- 4. 以下の手順の1つを実行してください。
  - ・43ページの指示に従ってデュアルビューを設定する。
  - ・46ページの指示に従ってクロックのタイプを設定する。
  - ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
  - ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



1.

2.



3.

セットアップ

NODEに「SET DUAL VIEW (デュアルビューの設定)」が表示されている場合は、ステップ4から開始してください。

- 1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。  
管理モードがバイク選択画面で開始します。
- 2. **s1**をブラウズしてデュアルビューに進みます。

- 3. 必要に応じて、デュアルビューをオンに変更します。**s2**を押して変更してください。  
**s1**を押し、選択を保存してデュアルビュー設定機能に進みます。

- 4. **T**または**B**をブラウズして左のビューを変更します。

左デュアルビュー機能	Node 1.1	Node 2.1
CAD	X	X
DIST	X	X
TEMP	X	X
GRADE		X
PWR	X	X
HR		X

**s2**を押し、選択を保存して2番目のデュアルビュー設定機能に進みます。

- 5. **T**または**B**をブラウズして右のビューを変更します。

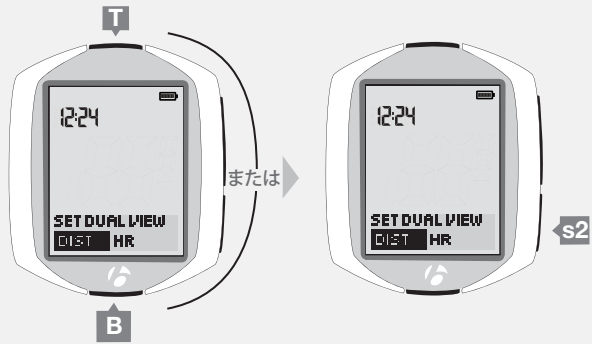


1.

2.



3.

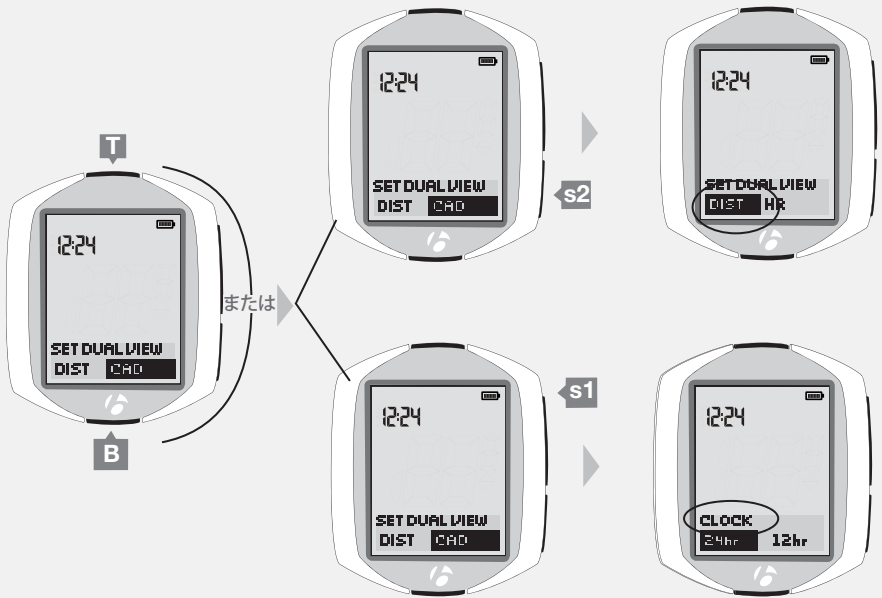


4.

右デュアル ビュー機能	Node 1.1	Node 2.1
CAD	X	X
DIST	X	X
TEMP	X	X
GRADE		X
PWR	X	X
HR		X

左デュアルビューの設定に戻るには、s2を押します。

s1を押し、デュアルビュー機能の選択を保存してクロックのタイプの機能に進みます。



5.

6. 以下の手順の1つを実行してください。

- 45ページの指示に従ってクロックのタイプを設定する。
- s1をブラウズして他の機能を確認する。
- Bを3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# クロック

## クロックのタイプのセットアップ

NODEにクロックのタイプが表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてクロックのタイプに進みます。

3. **s2**を押してクロックのタイプを変更します（12時間または24時間表示を選択）。

**s1**を押し、クロックのタイプを保存してクロック設定機能に進みます。

4. 以下の手順の1つを実行してください。

- 46ページの指示に従ってクロックの設定を行う。
- **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



## 時計のセットアップ

NODEにクロックのタイプが表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてクロックの設定に進みます。

時が強調表示されます。

3. **T**または**B**をブラウズして時を変更します。

**s2**を押し、時を確定して分の設定に進みます。

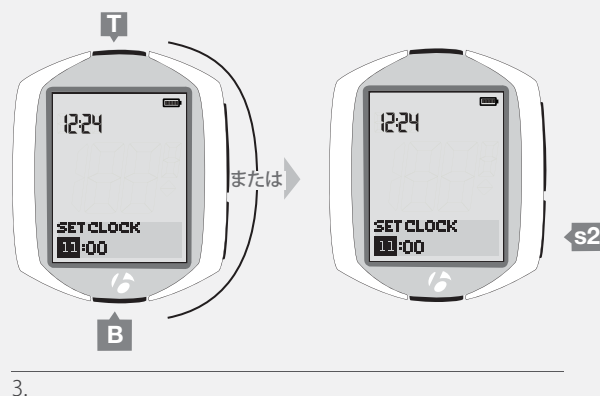
4. **T**または**B**をブラウズして分を変更します。

時の設定に戻るには、**s2**を押します。

**s1**を押し、クロック設定を保存して走行距離単位の設定に進みます。

5. 以下の手順の1つを実行してください。

- ・47ページの指示に従って走行距離単位を設定する。
- ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。





# 走行距離

## 単位のセットアップ

NODEに走行距離単位が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

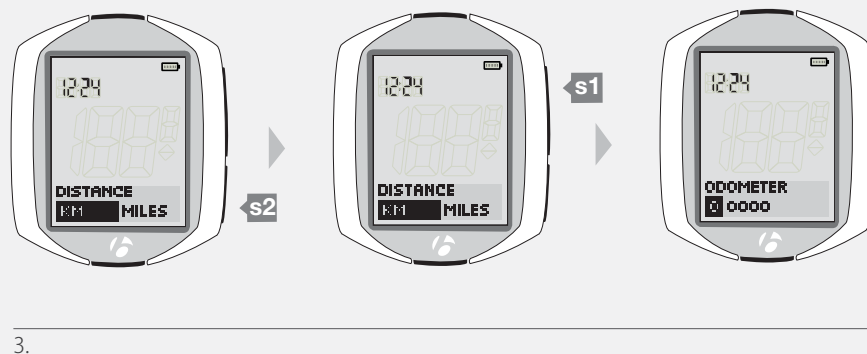
2. **s1**をブラウズして走行距離単位に進みます。

3. **s2**を押して走行距離単位を変更します (**KM**(キロメートル)または**MILES**(マイル)を選択)。

**s1**を押し、選択を保存してオドメーター設定機能に進みます。

4. 以下の手順の1つを実行してください。

- ・48ページの指示に従ってオドメーターのセットアップを行う。
- ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



## オドメーターのセットアップ

NODEに「ODOMETER(オドメーター)」が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズしてオドメーターに進みます。

1桁目が強調表示されます。

3. **T**または**B**をブラウズして1桁目を変更します。

**s2**を押し、1桁目を確定して次の桁に進みます。

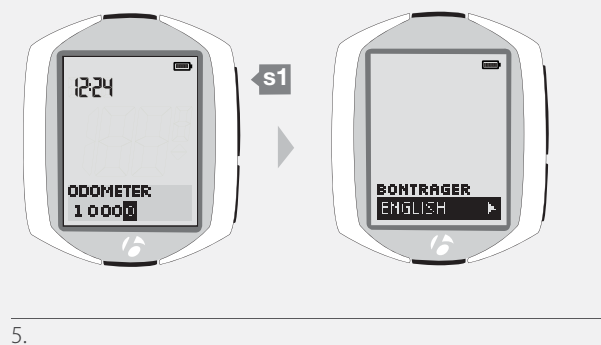
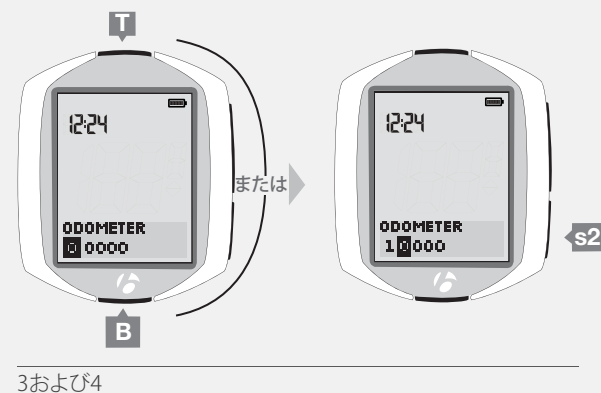
次の桁が強調表示されます。

4. ステップ3を繰り返して残りの4桁を変更します。

5. **s1**を押してオドメーターの設定を保存し、言語設定機能に進みます。

6. 以下の手順の1つを実行してください。

- ・49ページの指示に従って言語設定を行う。
- ・**s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- ・**B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# 言語

## セットアップ

NODEに言語が表示されている場合は、ステップ3から開始してください。

1. 管理モードにします。**B**を3秒間押し続けてください。

管理モードがバイク選択画面で開始します。

2. **s1**をブラウズして言語に進みます。

3. **T**または**B**をブラウズして言語を変更します（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語から選択）。

**s1**を押し、選択を保存してバイク機能に進みます。

4. 以下の手順の1つを実行してください。

- **s1**をブラウズして他の機能を確認する。
- **B**を3秒間押し続けてライディングモードに戻る。



# 電池について

コンピューターと各センサーはそれぞれ1つずつ電池を使用します。NODEを毎日1時間使用した場合、電池は約10か月もちます。

電池を長持ちさせるため、長時間使用しない場合には、コンピューターをコンピューターベースから取り外してください。コンピューターを取り外すと、コンピューターの自動スタート機能は無効化されます。

## センサーの電池

センサーの電池の交換は10か月ごとに、またはコンピューターがセンサーとのペアリングまたは接続を実行できない時に行ってください。

## コンピューターの電池

コンピューターの電池は、電池インジケーターが10%以下になったとき（インジケーターにバーが表示されなくなったとき）に行ってください。

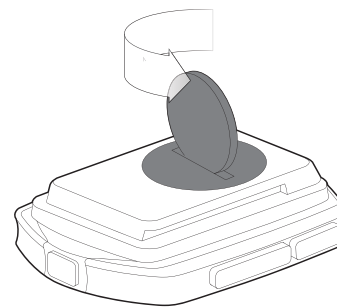
コンピューターの電池を取り外す前に、トリップデータの値およびデータの合計値をメモしておきます。電池を取り外すと、コンピューターは自動的にリセット（設定の消去）を実行し、累積データの合計値をゼロ（0）に戻します。データの合計値は新しい電池を取り付けた後で手動で設定できます。

## 電池のタイプ

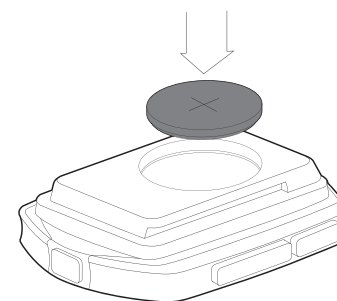
コンピューターと各センサーは同じタイプの電池（CR2032の3Vリチウム電池）を使用します。新しい電池を購入する際は、確実に同じタイプを購入できるように古い電池を持って行くようにしてください。

## 電池の交換

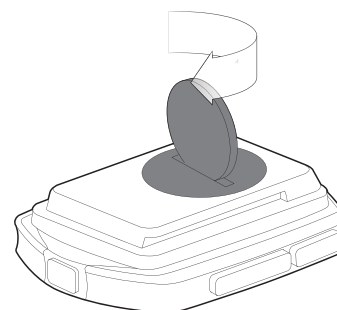
1. コインを使って電池カバーを反時計回りに回します。電池を外します。ラバーシールを剥がさないように注意してください。
2. 新しい電池を、「+」を上または外側に向けて挿入します。
3. 電池カバーを取り付けます。コインを使ってカバーを時計回りに回してください。



1



2



3

# リセット

すべての設定とプログラムを消去することができます。リセットボタンを押してください(図32)。

NODEが自動セットアップのプロセスを開始します。

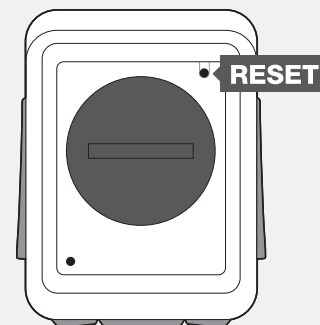


図32:リセットボタン

# トラブルシューティング

NODEコンピューターに問題がある場合は、このガイドを使って修正します。問題が修正できない場合は、コンピューターとバイクをご持参の上、販売店までお越しください。

問題	考えられる原因	解決法	ページ
データが正しく表示されない	マグネットの位置が適切でないか距離が開き過ぎている	マグネットとセンサーの位置を再調整する	4
	センサーの電池残量が少ない	電池を交換する	8
現在の速度が表示されない	マグネットの位置が適切でないか距離が開き過ぎている	マグネットとセンサーの位置を再調整する	4
	コンピューターとセンサー信号が接続されていない	手動接続を実行する	14
速度が正しく表示されない	ホイールサイズが適切でない	ホイールサイズをリセットする	27
	センサーが正しくマグネットを読み取れない	マグネットとセンサーを再調整する	4
	センサーの電池残量が少ない	電池を交換する	8
ケイデンスが表示されない	センサーが正しくマグネットを読み取れない	マグネットとセンサーを再調整する	4
	コンピューターとセンサー信号が接続されていない	手動接続を実行する	14
	センサーの電池残量が少ない	電池を交換する	8
	センサーの電源がオフになっている	センサーの電源をオンにする	31
心拍数が表示されない	センサーが正しく心拍数を読み取れない	心拍ストラップを調整するか、湿らせてみる	34
	コンピューターとセンサー信号が接続されていない	手動接続を実行する	14
	センサーの電池残量が少ない	電池を交換する	8
	センサーの電源がオフになっている	センサーの電源をオンにする	34
	センサー（心拍ストラップ）がANT+に適合していない	適切なセンサーを選択してペアリング/接続を行う	12
パワーを校正できない	コンピューターとセンサー信号が接続されていない	手動接続を実行する	14
	センサーの電池残量が少ない	電池を交換する	8
	センサーの電源がオフになっている	センサーの電源をオンにする	32
	センサーが信号を送信していない	パワーメーターの取扱説明書を参照する	
画面に何も表示されない	コンピューターが出荷モードまたは休止モードになっている	任意のボタンを押してみる	8
	電池が切れているか、正しく取り付けられていない	新しい電池を取り付けてみる	8
画面に「-」が表示される	センサー信号が接続されていない	センサーを起動して手動接続を行う	14



**[www.bontrager.com](http://www.bontrager.com)**

ボントレガーおよびボントレガーBドットは Trek Bicycle Corporationの登録商標です。  
©2011 Trek Bicycle Corporation, Waterloo, Wisconsin 53594 USA.無断複写・複製  
・転載を禁じます。